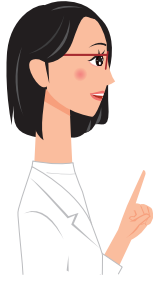


2人で乗り越える、子宮頸がん

1人より、2人。一緒に考えることが、子宮頸がんの予防につながります。

〔お話〕西岡 留美子さん（仮名）
越前市在住、30代。結婚7年目。夫・長女・長男の4人暮らし。3年前に検診で子宮頸がんが見つかり、子宮・卵巣の全摘出手術を受ける。



第3話

先生と私

「できるだけ早く手術を」
不安が軽くなった。



子宮と卵巣をすべて取り、がんを断ち切ると決めたものの、不安は増すばかりでした。体力的に育児はできる？初めての全身麻酔、目覚めなかったらどうしよう…。女性らしくいられるのかな…。自分が変わってしまうように思えたんですね。

手術をお願いしたのは、検診を受けたかかりつけの病院です。妊娠前から診てもらっていた、女性の先生の執刀でした。先生には、あらゆる不安と疑問をぶつけましたね。いつも、一生懸命聞いてくださるんですよ。不安はゼロにはならないけれど、聞いてもらえることで気持ちが軽くなるのを感じました。

お世話になっている先生に手術をお願いできるのは、なにより安心できました。私にとって一番いい治療法を提案してくれていることも分かります。不安がる私の性格まで理解してくれて、手術の日程を早めてくれたのは、ありがたかったです。

手術では、膀胱に通じるリンパ管や神経も切り取るの、後遺症も心配です。個人差がありますが、特に排尿障害は辛かったですね。自分で尿を出せないから、その都度看護師さんにとってもらわなければなりません。リンパの流れを良くする特別なストッキングも必需品。むくみがひどくならないよう、マッサージも毎日。偶然にも私は、妊娠中にマッサージの資格を取っていたおかげで大きなむくみもなく過ごせています。卵巣を取ると女性ホルモンが不足して、更年期障害が出ます。私は2日に1回、お腹にホルモン補充薬を貼っています。強い動悸やほてり、イライラをあまり感じずにすんでいるのは、先生に早い段階からこの薬を提案してもらったおかげですね。

手術を終えて2年間は、毎月診察を受けました。先生の顔を見るだけで、安心できるんですよ。先々までお世話になれる婦人科を選んで、本当によかった。子宮頸がんは、手術が終わってからもケアが続きますから。

【検診は3種類】 福井県の検診に関する問い合わせ先は、「ふくいキレイ女子大」HPで検索を。検診はすべて、事前の予約が必要。

1. 集団検診 決められた日時に居住地の市町の保健センターや検診バスなどで受ける。
2. 個別検診 希望の日時に検診可能な病院（ふくいキレイ女子大HPに掲載）で受ける。
3. 人間ドック・健康診断のがん検診 希望の日時に検診可能な病院で受ける。就労者は個人負担が安く済む場合も。

※ 第1、2話は「ふくいキレイ女子大」ホームページでご覧いただけます。



www.kirei-univ.com

「ふくいキレイ女子大」は、キレイと健康を学べるカリキュラムを展開中です。

□主催／福井新聞社 □後援／福井県、福井県医師会、福井県産婦人科医師連合、福井県看護協会、福井県健康管理協会、福井商工会議所、敦賀商工会議所、武生商工会議所、大野商工会議所、小浜商工会議所、鯖江商工会議所、NPO法人オレンジティ

《お問い合わせ》 福井新聞社営業局 kirei-univ@fukuishimbun.co.jp

